

漢方入門講座7月（基礎編）

五臓と六腑のはたらき

～ 贅沢な香油作り ～

五臓六腑については、中国最古の医学書（約2000年前）とされる「黄帝内経」に書かれています。そこには身体の仕組みや、どうして病になるのか、どんな生薬を選ぶか、そもそも病気にかからないためには？などの予防法が載っているそうです。

漢方の基本は「気血水」や「陰陽論」や「五行説」の理解から始まり、そこに「五臓六腑」を当てはめると、自分独自の養生法を求めることができます。

五臓とは、「肝」「心」「脾」「肺」「腎」の五つです。現代に生きる私たちの知るところの肝臓や心臓や腎臓と違う機能も持ち合わせているため、その機能は多岐にわたります。

六腑は「胆」「小腸」「胃」「大腸」「膀胱」「三焦」の六つです。

五臓六腑とは、私達の身体の内において、それぞれの役割を担当して、お互いに関わり合い、助け合って、身体を守ってくれる存在です。

原因が分からない不調が漢方をチョイスすることで良い方向に向かうことがあります。それこそ五臓六腑からのアプローチに応えることができたからです。不思議な五臓六腑の世界をもっと知りたいと思いませんか？

実習は、香油（ロールオンボトル）をつくります。

香りが身体によいことは精油をつくる技術がなかった紀元前から広く知られ、漢方でも香りの良いものは「気滞」に効果があることが伝えられてきています。

アロマの贅沢な香りの香油は、身体の機能と心や精神的な働きを担う五臓すべての働きを整えます。

日時：7月23日（土）10時30分～12時

場所：御茶ノ水 ヴィーナスメディカルハーブラボ

オンライン（zoom）講座 実習はありません

7月22日（金） 午前の部 10時30分～12時

午後の部 14時00分～15時30分

<https://www.venurse.com/kanpo.html>

